

Vリーグ栄誉賞を受賞した
山本選手 (21日)



山本将平選手が21日のサントリリーウィークに出場し、Vリーグ栄誉賞(試合出場が10シーズン以上で230試合出場)の表彰基準に到達した。チームでは昨年の安永拓弥選手以来の受賞となる。

2013年から16年春まではFC東京に在籍。Vリーグのデビューリーグ戦は廿日市市で行われたJT戦だつたという。当時はJTへの移

久原 大輝



籍は、一切頭になかつたと語っている。

16年夏にJTへ移籍したが、当時の移籍規定により1シーズンの出場停止を余儀なくされた。しかし本人はネガティブな言葉を発することなく、懸命にトレーニングに励み、己を磨き続けた。

17年シーズンから満を持して試合に出場すると、鋭いジャンプサーブ、安定感抜群の守備で瞬く間にチームの主力となる。主将を務めるなど、仲間からの信頼感は絶大だ。

受賞が決まった開幕戦でも、リーフサーバーで2度コートに立ち、流れを引き寄せるサーブや仲間への声がけで、チームの勝利に大きく貢献した。

まだまだ山本選手の力が間違いない必要なので、これからもけがには十分気を付けて、チームをどんどんもり立ててほしい。改めて受賞おめでとうございます。

(JT広島マネジャー)